

Aikou

2025年3月園だより

愛香南部幼稚園

〒921-8035

金沢市泉が丘1-16-8

Tel 241-3860

「13人の使徒たち」

チャプレン 山田 和人

この一年を振り返ってみると、何でもない日常の繰り返しの中で、子ども達は大小様々な刺激を受けて、成長を繰り返してきました。年度の始まりの頃を思い起こすと、一人ひとり大きく、豊かに成長したと思います。何気ない瞬間に垣間見える豊かな表情に成長の足跡を感じ、その様子を見て心洗われたことが幾度となくありました。また、一人ひとりが自分の課題に懸命に取り組んでいる様子を見て、心から応援したい気持ちにさせられました。一人ひとりのお友だちとの思い出を大切にしたいと思いません。

イエス・キリストは、様々な背景を持つ荒くれ者を弟子として選び、その12人を福音（神様からの救いのメッセージ）を伝える使徒として用いました。13人のお友だちは、これからの成長の過程で、自分が生きる意味について考え、深く思い悩み、その中で自分に与えられた使命について考えるようになることでしょう。他の誰でもない、自分だからこそ担える使命に気づき、自分だけでなく、隣人の幸福のために心を砕くことのできる人間として成長し続けていくことを祈っています。

「卒園を迎えて」

園長 富樫 立子

早いものでもう3月です。ゆり組の8名は小学校への期待と不安を抱えているようです。そして口を揃えて「ずっと幼稚園にいたい」と話します。この言葉は私たち教師にとってとても嬉しい言葉です。神様は一人ひとりに力を与えてくださっていることを大切に幼稚園生活の中で育むようにと願って保育を進めています。お友だちと過ごした多くの経験からたくさんの方が育ってきました。大きくなったこの力は幼稚園で楽しい経験だったことがこの言葉から感じられるからです。

私たちが何かを教えたのではなく、子どもたちが自分で友だちや環境と関わる中で気づき、考え成長しているのです。それだけの力があることに自信を持ってほしいです。そして、いつも神様がみんなのことを見てくださっていることを忘れないでいてほしいと願います。何か困ったことがあったり、さみしくなった時には幼稚園のこと、神様のことを思い出してください。きっと、心が温かくなるでしょう。

今年はゆり組だけではなく皆が愛香南部幼稚園から巣立ちます。たんぼぼ組すみれ組のお友だちもそれぞれの園に進みます。園長だけが幼稚園に残りますが先生たちもそれぞれの道に進みます。

「成長させてくださったのは神です。」という聖書の言葉があります。これからも皆が神様に守られ大きくなることを心から願います。

くらす すけっち

すみれ組

2月になり、子どもたちの心がいっぱいになる位の雪が降りましたね♪園庭やターザン公園で、沢山雪遊びを楽しみました。

少し前の話になりますが、今年度初めての雪が降った時、それに気が付いたゆり組の子たちが窓に走って飛んで行き、「わぁ～♪やった～!!雪だ～!!積もらないかな～♪」と言って歓声をあげました。その声に、2人の子たちも飛んで行き、一緒に歓声をあげていました。その、嬉しそうな声が思い出されます。

さて、その後、神様は沢山の雪をくださいました。初めての日は、冷たさや、どうやって遊んだらいいのか分からず、少し戸惑う姿も見られましたが、一緒にかまくらを作ったり、遊具のバケツで雪を固めてケーキを作っておままごしたり、雪投げしたり、ターザン公園では、初めてのそり遊びを楽しみました。新雪の上で、どっかりと寝ころぶと、気持ち良さを感じる事が出来ました♪雪遊びを通して、また少し大きくなった子どもたちです。

宮崎 詩世



ゆり組

子どもたちが楽しみにしていたお楽しみ会が終わりました。“おもちゃつき、マジックショー、ビンゴ、おにごっこ、かくれんぼ、おぼけやしき、おみせやさんごっこ、どうぶつえん”などなどお家の方としてみたいことをたくさん話し合うことができました。グループに分かれてからも、どう進めていくのか?なにが必要か?と考えていた子どもたち。“周りの友だちが発言してくれるから自分は何も言わなくても大丈夫”という子はいませんでした。子どもたちがやりたい!と思ったことを最後まで頑張ってみようという気持ちが伝わったのではないのでしょうか。短い時間の出し物でしたが子どもたちは力を出し切ったようで、終わった後はホッとしている姿も見られました。ひとつひとつ成長する子どもたちと関わることが出来て本当に良かったと思った場面でした。

3月です。いよいよ卒園というところまで来てしまいました。子どもたちも担任もまだまだ卒園を迎える実感はありませんが、『最後の○○』という言葉がどうしても増えてきています。寂しい気持ちもありますが最後の最後まで8人らしいゆり組で走っていきたいと思います。

氣谷 彩子

たんぼぼ組

今年は雪に恵まれ、たくさん雪遊びをすることが出来ました。園庭やターザン公園で思いっきり雪と触れ合いました。初めは恐る恐る滑っていたソリもすぐに慣れて、何度も繰り返して乗っていました。一人乗りではいかに遠くまで滑れるかを考え、座る位置や体の起こし具合を微妙に追及していました。二人乗りでは「いっしょにすべろう」と少しドキドキしながらお友だちを誘って楽しんでいました。新雪にポーズをとりながらダイブして、雪についた体型をアートに見立てたり、雪だるま作りかと思ったら自分創造のものだったりと思い思いの遊び方で満喫していました。

雪だるまのチャチャチャがぴったりの冬でしたが、お楽しみ会での歌やリズムも普段と同じように表現していましたね。みんなの前に1人で立ってすることもこの頃は「やりたい」とゆり組に混じって挑戦しています。

もうすぐ、ゆり組さんのお別れパーティーがあります。今年にはばら組がいなかったためにたんぼぼ組が中心となって会を進めなくてはなりません。今までゆり組さんと一緒に過ごして重ねた経験を活かしながら、自信を持ってきっと楽しい会となると思っています。また一つ大きくなって、それぞれの道へ進んでほしいと願います。

富樫 立子

あそびの中から

2月は雪遊びがたくさんすることが出来ました。あいこうのみんなはどんな遊びをしていたかな?雪合戦、雪だるま作り、大ジャンプ、かまくら、じゃぶじゃぶ池でのお風呂屋さん、あいこうハウスの屋根雪下ろし、ターザン公園での反りやおしり滑り・・・など、盛りだくさんでした。まだまだこれはほんの一例です。子どもたちは思いっきり楽しんでいました。

その中からゆり組のお友だちがターザン公園で雪だるまを作っていた時のこと。「せんせい～、きょうのゆき、ゆきだるまできないよ～」そうそう、前に来た時は水分がある雪ですぐに丸くできたんだよね。今日の雪はさらさらの雪だから難しいね。気温によって雪の性質が変わることに気が付いて、少し不思議そうでした。子どもたちは自然の中で色々なことを経験しながら学んでいるんだなあと感じた瞬間でした。

櫻井 真澄

